

www.r-toolbox.jp

toolbox

オーダーレンジフード





目次

安全上のご注意	1
各部の名称 / ご使用方法	2
使用上のご注意	3
お手入れ方法	4
故障かな?と思ったら	5
仕様/アフターサービス	6

安全のために必ずお守りください

- ・ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
この取扱説明書は取付設置後、お施主様へ必ずお渡しください
- ・ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重大事項ですので、必ずお守りください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。




 警告	警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。	 禁止事項	 指示に従う
 注意	注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。	 接触禁止	 アースを取付ける
		 水掛け禁止	 プラグを抜く
		 分解・修理・改造禁止	

株式会社 TOOLBOX



URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp

安全上のご注意

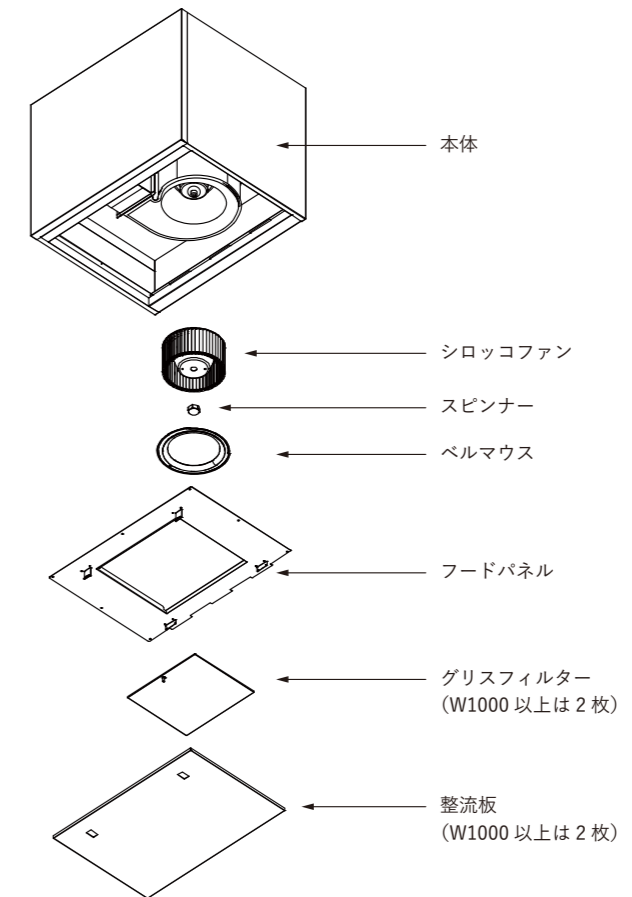
警告

-  修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造しないでください。
発火したり、以上動作のためけがをする恐れがあります。
-  お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。
感電の恐れがあるので、分電盤のブレーカーを濡れた手で入 / 切操作をしないでください。
-  電源部品は、水につけたり水をかけたりしないでください。
ショート・感電の恐れがあります。

注意

-  運転中は危険ですので、ファンの中に指や物を入れないでください。
また、ファンや部品の取り付けは確実に行ってください。
落下によりけがをする恐れがあります。
-  AV100V 以外では使用しないでください。
火災の原因になります。

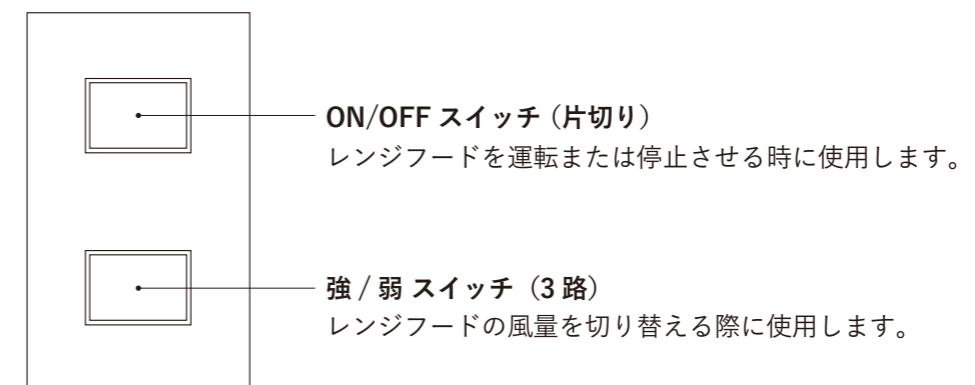
各部の名称



ご使用方法

2 穴スイッチ (別売品) の場合

スイッチイメージ

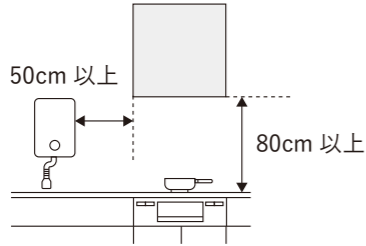


- ・スイッチは別売りです。現場でご用意ください。
- ・配線の接続の仕方によって、上記イラストと異なる場合があります。
- ・お手入れを行う際は、スイッチにて運転を停止させ、ブレーカーを「切」にしてください。
- ・スイッチについての不具合やお問い合わせは、工事店へご相談ください。

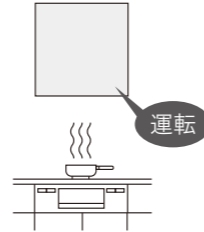
使用上のご注意

⚠ 注意 運転中は危険ですので、ファンの中に指を入れないでください。ケガをする恐れがあります。

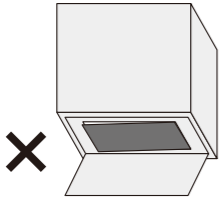
1 温度は高くなるすぎると製品の故障の原因になるため、下図の寸法が守られているか確認してください。またガス湯沸器の真上に取り付けしないでください。



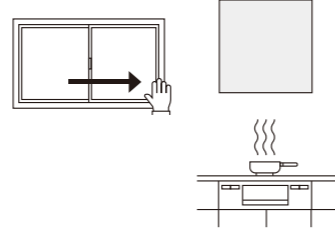
2 調理器具の使用中は、必ずレンジフードファンを運転してください。運転しないと本体内の温度が高くなり故障の原因となります。また調理器具を長時間空焚きの状態で使用しないでください。



3 整流板などの部品取付けが不十分の場合、振動したり異常音が発生しますので、確実に取り付けられているか確認してください。



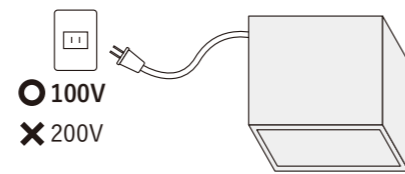
4 レンジフードファンは風の影響を受けやすいため、付近の窓を閉めて使用してください。またエアコンの風が直接当たらないようにしてください。



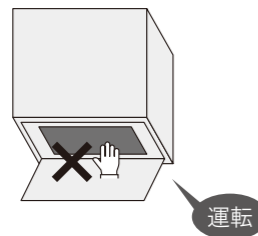
5 誤ってフライパン等の油に火がついたときは、ガスを消すと同時に、レンジフードファンの運転を停止してください。運転していると火の勢いが強くなり危険です。



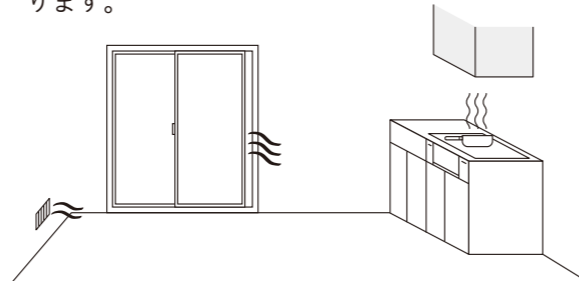
6 配線工事は専門の電気工事店に依頼してください。電源は AC100V をご使用ください。(AC200V は使用できません。)



7 レンジフードの運転中に整流板を外したり、回転中のファンに手を触れないでください。ケガの原因になります。



8 レンジフードの運転中は、給気を行ってください。空気の取り入れが不十分だと換気性能が低下したり、レンジフードに異常振動が発生する場合があります。



お手入れ方法

⚠ 警告 電源部品は水に浸けたり掛けたりしないでください。ショートや感電の恐れがあります。お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。感電の恐れがあるので、分電盤のブレーカーを濡れた手で入/切操作をしないでください。

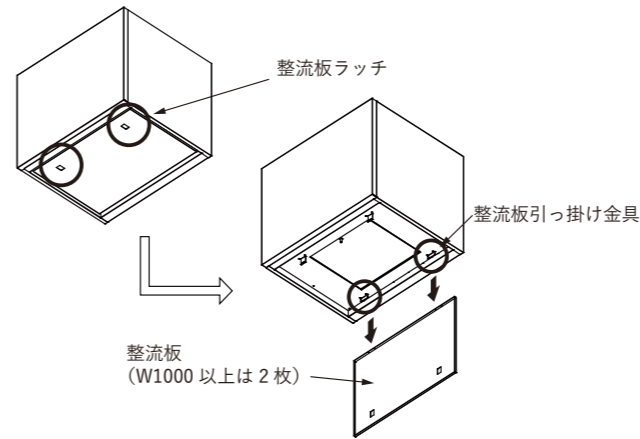
⚠ 注意

- 部品の取り外しや取付けは落下させないように両手でしっかり支えながら行ってください。
- 落下防止のため部品の取付けは確実に行ってください。
- 60°C以上の熱湯は使用しないでください。
- 中性洗剤を使用してください。(洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みください。)
- あまり汚れないうちに掃除してください。
- ファンモーター部には直接洗剤をかけないでください。故障の原因になります。
- 必ず手袋を着用してください。
- 取り外しの際は、油ダレに十分ご注意ください。

1 部品の取り外し方法

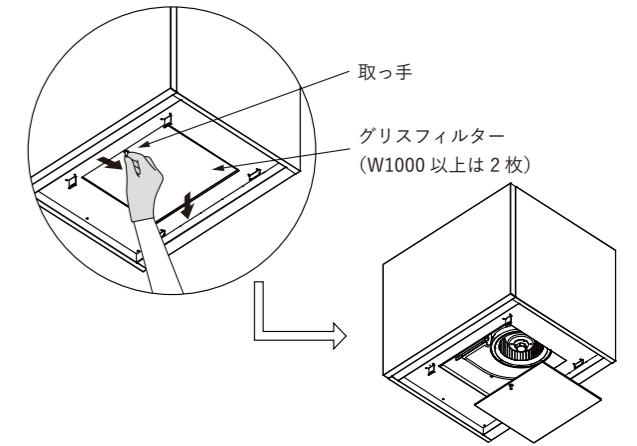
1-1 整流板をはずす

左右の整流板ラッチを解除し両手をそえたまま、整流板を少し下げ、奥の整流板引っ掛け金具から取り外します。



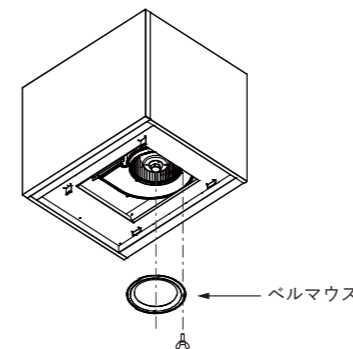
1-2 グリスフィルターをはずす

グリスフィルターの取っ手をつかみ、奥に押しながら下に下げて取り外します。



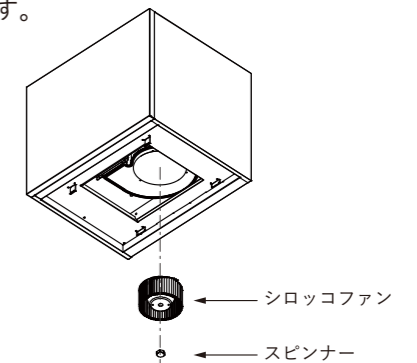
1-3 ベルマウスをはずす

ベルマウスの取り付けネジをゆるめて取り外します。

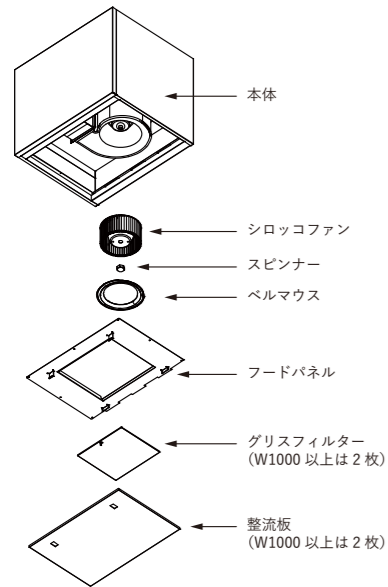


1-4 シロッコファンをはずす

ファンを押しえスピナーをゆるむの方向にまわして取り外した後、ファンを取り外します。



2 お手入れ方法



普段のお手入れ

● 本体 ● 整流板

- 薄めた中性洗剤を含ませた布で本体・整流板の汚れを拭きとってください。
- 洗剤が残らないように、水で湿らせた布で2度拭きしてください。

定期的なお手入れ (1ヶ月に1度程度)

● 整流板 ● フィルター ● ベルマウス ● ファン

- 整流板・フィルター・ベルマウス・ファンを「部品の取り外し方法 (P.4)」を参考にして取り外し、1カ月に1度程度清掃してください。
- 中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した後、やわらかいスポンジなどで洗ってください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いをし、よく乾かしてから取り付けてください。

3 部品の取付け方法

3-1 お手入れが終わりましたら、部品の取り付けは「部品の取り外し方法 (P.4)」の逆の順序で取り付けしてください。

3-2 正常に運転するかどうか次の項目を確かめてからご使用ください。

- ▶ シロッコファン・スピナー・ベルマウス・グリスフィルター・整流板などが本体に確実にゆるみなく取り付けられていること。
- ▶ 運転時に異常な振動、騒音がないこと

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度次の点をお調べください。

症状	考えられる原因	処置
ファンが作動しない	分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか	ブレーカーを「入」にしてください
運転中に異常音や振動がする	シロッコファン・フィルター・整流板が正しく取り付けられていますか	正しく取り付け直してください
	給気は十分に取れていますか	給気口や窓を開け十分な給気を確保してください
回転が遅い 回転が不規則	運転停止	修理を依頼してください
焦げたにおいがする	運転停止	修理を依頼してください

仕様/アフターサービス

■仕様

定格電圧	AC100V / 50・60Hz	
モーター	4極コンデンサー誘導式	
特性	風量 (換気量)	550 / 510m ³ /h (50 / 60Hz, 強運転時)
	消費電力	101 / 102W (50 / 60Hz)
	騒音	強: 44 / 43 弱: 35 / 35 (50 / 60Hz)
	外形寸法	W500~1200 × D630, 650 × H250~900 (mm)
本体材質	ステンレス	

■アフターサービス

※ 製品の保証期間は、お買い上げ後正常のご使用状態において1年間です。
ご不明な点や修理に関するご相談はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※ 換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご連絡していただきたい内容

品名	レンジフードファン
型式	オーダーレンジフード
お買い上げ日	年 月 日
故障の症状	できるだけ具体的に
ご住所	修理依頼先のご住所
お名前	修理依頼者及び取付先氏名
電話番号	修理依頼者のご住所
訪問ご希望日	

■長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体本体への表示内容

- 経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体に行っています。

設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用する事ができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

経年劣化とは

- 長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示しています。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至る恐れがあります。

標準使用条件 (日本産業規格 JIS C 9921-2 より引用)

環境条件	電圧	単相 100V	
	周波数	50Hz / 60Hz	
	温度	20°C	JIS C 9603 参照
	湿度	65%	JIS C 9603 参照
負荷条件	設置条件	標準設定	取付説明書による
		定格負荷 (換気量)	取付説明書による
想定期間	1年間の使用時間	換気時間 台所 2,410 時間 / 年	

注) 常時換気 (24 時間連続換気) のものは、8,760 時間 / 年とする

製造元

株式会社ハイスタイル
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-3-4 大東ビル 203
TEL 03-3830-0713 FAX 03-3830-0714
www.hi-style.co.jp

発売元

株式会社 TOOLBOX
〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16
contact@r-toolbox.jp
www.r-toolbox.jp